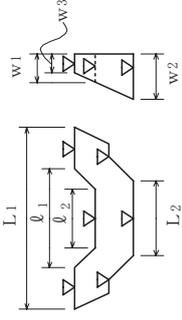
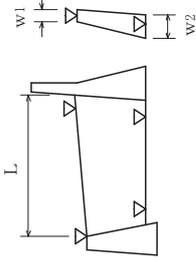


単位：mm

測定基準	測定箇所	摘要
図面の寸法表示箇所を測定。		
図面の表示箇所を測定。		
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
6	砂防堰堤	3	4		鋼製堰堤反設材製作工	部材長 $l$ (m)	$\pm 3 \dots \dots$ $l \leq 10$ $\pm 4 \dots \dots$ $l > 10$
						部材	
6	砂防堰堤	6	4		コンクリート堰堤本体工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$
						天端部堤幅 $w_1, w_3, w_2$	$-30$
						水通しの幅 $l_1, l_2$	$\pm 50$
						堤長 $L_1, L_2$	$-100$
6	砂防堰堤	6	6		コンクリート側壁工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$
						幅 $w_1, w_2$	$-30$
						長さ $L$	$-100$

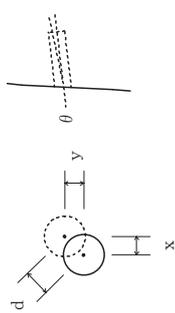
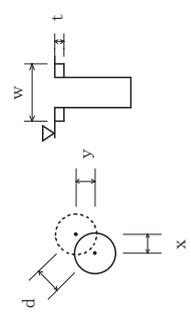
単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びひびその中間点で測定。		
1. 図面の表示箇所にて測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。 3. セル構造の場合は、堤高・袖高：-50 堤長・堤幅：直径の+1%、-3% 下流側倒れは適用しない。		
(備考) 格：格子型鋼製砂防ダム A：鋼製スリットダム A型 B：鋼製スリットダム B型 L：鋼製L型スリットダム		

編 号	章 節	条 目	枝 番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	8		水叩工	基準高 ▽	±30
					幅 w	-100
					厚 さ t	-30
					延 長 L	-100
6 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	7	1	鋼製堰堤本土工 (不透過型)	堤 高 ▽	±50
					長 さ $\ell_1, \ell_2$	±100
					幅 $w_1, w_3$	±50
					水通し部 下流側倒れ Δ	±0.02H1
					袖 高 ▽	±50
					幅 $w_2$	±50
					袖 部 下流側倒れ Δ	±0.02H2
					堤長 L 格・B・L	±50
6 砂 防 編	1 砂 防 堰 堤	7		鋼製堰堤本土工 (透過型)	堤長 $\ell$ 格・B・L	±10
					堤幅 W 格	±30
					堤幅 w 格・B・L	±10
					堤幅 w A	±5
					高さ H 格・B・L	±10
高さ H A	±5					



単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。		

編 号	章 節	条 目	種 工	測 定 項 目	規 格 値
6 砂 防 編	3 斜 面 对 策	4	集排水ボーリング工	削孔深さ $\phi$	設計値以上
				配置誤差 d	100
				せん孔方向 $\theta$	±2.5 度
6 砂 防 編	3 斜 面 对 策	5	集水井工	基準高 $\nabla$	±50
				偏心量 d	150
				長さ L	-100
				巻立て幅 w	-50
				巻立て厚さ t	-30
6 砂 防 編	3 斜 面 对 策	6	合成杭工	基準高 $\nabla$	±50
				偏心量 d	D/4 以内 かつ 100 以内